



## 幼児におけるテキスタイル素材の効果と実践

### キーワード

幼児教育, 幼児教育素材, 幼児教育テキスタイル, 幼児教育, 地域連携, 障害者教育

### 研究内容

幼児教育では、テキスタイル素材を用いた活動は専門知識が必要なため、絵画技法などに比べ事例が少ない現状があります。本研究は、五感や直感に関わる右脳と、論理・計算に関わる左脳を同時に刺激するテキスタイルワークショップを実践します。身近な繊維素材に触れる活動を通じて、手先を鍛えながら（左脳）、素材の特性を感じ覚的に捉える（右脳）ことで、左右両脳のバランスの取れた育成を目指します。さらに、この活動を通して物の大切さに気づき、SDGsを考える機会を提供します。これは、未来に繋ぐ幼児教育において有意義な研究成果に繋がると考えられます。



都電荒川線 貸切ワークショップ  
電車で Go 2024.12.9.

### 関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- 令和5年度第76回日本保育学会「幼児期におけるテキスタイル教材の実践研究」口頭発表
- 令和6年度第77回日本保育学会「テキスタイル教材による幼児教育の実践と研究発表」口頭発表
- 令和7年度第78回日本保育学会「テキスタイル教材を用いた遊びが幼児教育に与える実践的考察」口頭発表
- TEXFUTURE 講演発表「SDGsを意識したテキスタイル教育とその未来」



秋のキッズフェスタ 2025（国立青少年教育振興機構主催）SDGs 缶バッヂを作ろう  
2025.10.25 ~ 26

### 社会連携・産学連携の可能性

幼児期のテキスタイル教育は、感覚と論理を育む未来に繋ぐ有意義な研究に繋がります。社会連携・産学連携の可能性として、テキスタイル素材を用いたワークショップを幼児から大人、高齢者、障害を持つ方など多様な人々へ展開し、社会との繋がりを深めることができます。